

# サステナブルツーリズムを 目指して

世界から選ばれる持続可能な観光地へ。  
沖縄の自然や文化の魅力を発信し、県民も旅行者も  
皆で地域の未来を守る、ハートフルな観光とは？



今号の表紙  
沖縄の自然や文化、歴史をいつまでも守り、訪れる人に感動を与え続ける持続可能な観光地であるためにこの思いを込めています。

## その地域の未来を思いやる 観光のこと！

サステナブルツーリズムとは地域の経済、社会、環境へ配慮した「持続可能な観光」のこと。その地域の自然や文化、伝統を守りながら、旅行者を受け入れる観光のあり方です。  
最近では、サステナブルな観光について日本での関心も高まっており、宿泊予約サイトのブックイング・ドットコムによる調査では、日本人旅行者の82%が「旅行においてサステナビリティ(持続可能性)は重要」と回答。旅先で出るゴミの量を減らしたり、環境に優しいツアーを選ぶなど、旅行のあり方が変化しつつあります。

実は私たちの住む沖縄県でも、旅行者を受け入れる側として様々なシーンでサステナブルな取り組みが増えています。

## サステナブルツーリズム ってなに？

「旅行において、サステナビリティが非常に重要」と回答した日本の旅行者



出典元：ブックイング・ドットコム  
「サステナブル・トラベル」に関する調査結果(2021年度)



## かりゆしウェアの サステナブルな 取り組みとは？

### エコにつながる シェアサービスです！

県民に広く親しまれ、観光客にも人気のあるかりゆしウェア。最近、ホテルなどに設置し旅行者や仕事で沖縄を訪れた人が滞在中にレンタルできるサービス「バガスアップサイクル」が県内で広がっています。かりゆしウェアは、サトウキビの搾りかす(バガス)でできた糸を使い、廃棄されるかりゆしウェアや工場が出た残布をアップサイクル※したもののシマデニムウェアが手掛けています。



## 観光業を 発展させつつ 美しい海を守るには？

### 恩納村では海やサンゴを守る 国際ガイドラインを導入しています！

美しいサンゴ礁の海が広がり多くの観光客が訪れる恩納村。2018年に「サンゴの村宣言」をした同村は、近年環境汚染が心配されている海の自然を守るため、UNEP(国連環境計画)などが主体の、環境に優しいダイビング、シュノーケリングの国際ガイドライン「グリーンフィンズ」を取り入れています。地方自治体が主となり導入するのは日本でも恩納村が初めて。「餌付けをしない」、「海洋生物を追いかけない」など注意点を周知や、ガイドラインを守るダイビングショップの認定を進めています。

旅行者へ海の魅力を伝え、海を傷つけない観光のあり方を広めることで、地元地域と旅行者が海の価値を共有し、経済を発展させる、サステナブルツーリズムの実現を目指しています。



↑利用者へ海での注意点を伝える恩納村内のマリショップ。



↑環境に配慮したダイビングやシュノーケリングのガイドラインポスター。

## 私にもできる SDGs

食材を無駄なく有効利用した加工品や、環境負荷の少ない原料で作った日用品など、県内でも多く見かけるようになったサステナブルな商品。消費者としてサービスを選んだり、県外の人へのお土産や贈り物を選ぶ際にも沖縄らしいサステナブルな視点を取り入れてみませんか？

### お買い物も、 サステナブルな 視点で



規格外の野菜や、栄養豊富な野菜の外葉や芯、皮を有効活用！



菜・色・健・美 BEAUTY SOUP  
[有限会社グリーンフィールド]

布に蜜ろうなどをしみ込ませ、水洗いで繰り返し使えるエコなラップ



蜜ろうラップ [majimu]

赤土流出を防ぐために植えられた月桃をお茶として利用



石垣島産月桃茶 [NPO法人夏花(なつばな)]

クスのアップサイクル  
本来捨てられるものに新たな付加価値を持たせ、別の新しい製品に生まれ変わらせること。



バガスとバガスでできた糸(左)

Bagasse UPCYCLE  
かりゆしウェアのエコなシェアリングサービス事業  
<https://bagasse-upcycle.com/home/>



SHIMA DENIM WORKS  
かりゆしウェアをはじめ、バガスをアップサイクルした製品づくりを行う  
<https://shimadenim.com/>

